

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○	○		○	○	

## 企業の概要

社名	日本スターウッド・ホテル株式会社	都道府県	東京都
業種	宿泊業・飲食サービス業	従業員数	74名
事業概要	1. 国内外のグループホテルの販売、予約、広告、宣伝及びそれに関連するその他業務に関するサービス 2. ホテル経営及び運営に関するサービス業 3. 新規ホテル事業の計画及びそれに関連する業務 4. その他上記に関するあらゆる事業		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	制度を就業規則の細則に規定している
テレワーク推進担当部門	人事部
テレワーク対象者	全職種(のうち希望者)
実施者数	15名
実施日数	1か月あたり約10日～15日(月により変動)

## テレワークの導入・拡大の経緯

緊急時のリスク回避、従業員のワークライフバランス維持、またオフィススペース(家賃)の節約の為に、6年前から導入、当初は、2～3名で始まったが、今は15名が在宅勤務を行っており、さらに数名が在宅勤務開始に向けて準備中である。来年は約20名の在宅勤務者になる予定。

## テレワークの概要・特徴

現在15名の従業員が在宅勤務を行っており、会社としても積極的に在宅勤務者を推奨している。  
 業務内容や勤務時間、業務量(コール数)はオフィス勤務者とまったく同じ条件で、キャリアパスの機会も公平に与えられる。  
 在宅勤務開始にあたっては、在宅でも業務に集中していただくため、仕事部屋の確保やご自宅周りの環境の確認は必須だが、在宅勤務をすることで、通勤時間が節約されるので、プライベートの時間を有意義に過ごすことができる。  
 入社後、数か月間は、業務や人間関係に慣れていただくためにオフィス出社にて勤務。その後、在宅勤務開始後も週一回出社勤務することで、従業員同士のつながりも保つことができる。また、在宅勤務中も、内線やインターネットでオフィスとつながっているため、質問等があった場合には、すぐに聞くことができる。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ・オフィススペースの節約  
(6つのホットシートで15名分の出社時のデスクのカバーしている)
- ・交通費の節約(定期代支給の代わりに出社した分のみ支給)
- ・荒天時や災害時等のリスク回避(通勤できない状況でも自宅で勤務できる)
- ・災害や停電時等のリスク回避  
(オフィスの回線が切れても、在宅勤務者の回線が残っていれば勤務できる)
- ・従業員のモチベーションアップ(働きやすい、という声が多い)
- ・求人のインパクト及び応募者数の増加  
(ご家庭をお持ちの人など、働く意欲・能力があるにも関わらず、通勤時間等に支障がある方や、ワークライフバランスを重視したい方、遠方の方の関心や応募が増えた)